

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	オーエンス泉岳自然ふれあい館
2 指定管理者	株式会社オーエンス
3 指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日
4 施設の利用状況	《利用者数(延べ)》68,972人(前年度比 115%) ・令和3年度 本館：25,367人、市民キャンプ場：6,865人、休憩コーナー：34,517人、古民家：2,223人 ・令和2年度 本館：20,336人、市民キャンプ場：5,917人、休憩コーナー：30,850人、古民家：2,810人 ・令和元年度 本館：38,150人、市民キャンプ場：10,296人、休憩コーナー：32,906人、古民家：3,151人
	《事業》 ・受入れ事業 本館：306組 延べ22,495人(小学校、中学校、子ども会、家族、幼稚園、保育園、他) ・主催事業 45事業：延べ993人 ※ボランティア事業含む ・野外活動ボランティア事業 養成講座修了者：5名、登録者：77名、ボランティア支援：53回 延べ222名 ※上記の事業の他に、泉ケ岳の情報の収集と利用者への提供、軽食堂及び売店の運営、下見対応等を行っている
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・指定管理者に支払った費用 136,373千円(132,995千円) ・その他市が負担した費用 5,488千円(4,648千円) 《収入》 ・利用料金収入 4,899千円(3,669千円) ・その他収入 18,883千円(15,463千円)
6 利用者の声	《実施状況》 ・利用者アンケート(令和3年5月～令和4年3月に実施) ・事業参加者アンケート(令和3年5月～令和4年3月に実施)

二 管理運営に係る評価(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	教育委員会が定める運営の基本方針に加え、指定管理者独自の基本方針が策定されており、その周知も行われている。また、集団宿泊活動や自然体験活動等の支援が適切に行われており、施設の設置目的が達成されている。	30/30
II 施設の運営管理体制	職員体制について、一部仕様書の規定を満たさない時期が一定期間あったものの、開館時間、指定管理料の執行状況等は仕様書に則っており適正である。個人情報保護及び情報セキュリティ対策については、必要な対策が講じられている。また、事故防止及び災害発生時の対応状況については、マニュアル等が整備されており、定期的にセルフチェックや訓練を実施するなど職員への周知も行われていることが確認できた。	28/29
III 施設・設備の維持管理	建物・設備に目立った損傷等は見られず、発見された不具合についても適正な対応が図られており、利用者が安全に利用できる状態が保たれている。また、環境負荷軽減については、仕様書に基づき取組みが行われていた。	24/24
IV サービスの質の向上	職員のマナーについては、マニュアルの整備、研修の実施等により適正である。施設の利用情報の提供については、ホームページやフェイスブック、リーフレット、新聞、フリーペーパー等により周知が図られている。また、利用者アンケートを実施し利用者の意見を取り入れた改善を検討するなど、サービス向上の取組みも行われている。	28/28
V 施設固有の基準	学校利用にオンラインでの事前学習を導入することで、来館時の説明の短縮と、活動に対する児童生徒の理解促進及び意欲向上に寄与している。売店や軽食堂の運営については、地元産品を積極的に取り入れ、泉ケ岳周辺地域の振興に資する取組みがなされている。野外活動支援については、仕様書のとおり適正に行われており、怪我や急病にも適切な対応が図られている。運営上求められる保険加入については、仕様書に則っており適正である。	23/22

三 評価総括

《指定管理者（株式会社オーエンス）による自己評価》
<p>令和3年度は、延べ人数で年間利用者数が68,972人であった。内訳としては令和2年度と比較して本館利用人数が約9,000人増加、市民キャンプ場は約1,000人の増加となった。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2度の臨時休館期間があったことや人数を制限しての利用を提供したことを考えると、この施設が市民にとってより身近な愛着のある施設になったことが伺える。</p> <p>主催事業は58の年間事業が予定されていたが、臨時休館等のため13事業が中止となった。反面、実施できた主催事業に対しては申込みが多く、子供向けの事業やファミリー向けの事業では、定員の3倍以上で人気が高かった。中でも、「親子水生生物観察会」では定員の10倍以上の申込みがあり、自然体験活動に対する関心の高さがみられた。</p> <p>また、昨年試験的に実施した不登校対象事業「泉ヶ岳自然ふれあい塾」は、今年度年間を通して4回開催した。広報にあたっては、仙台市適応指導センターの協力を得て、杜のひろば6施設に開催要項を配布していただいた。活動では、参加者の自立のきっかけになるように日程や環境を整備したり、親と子や他の参加児童・生徒とさりげなく関わったりできるように活動の場を工夫した。参加者からは、「開放的に遊びを楽しんだり自分ができることをつき詰めて自信にしたりすることを体験できたこと、この会を開いてくださることに感謝です」「学校に行かなくても自然・体験、チャレンジ精神を育みたいと思っていましたが、スタッフの皆様のダイナミックな企画、やさしいサポートに大変感謝しています」という声が聞かれた。</p> <p>コロナ禍になり2年以上経過し、ますますアウトドアブームが拡大している。自然体験活動を通して、今後も児童生徒の健全育成と市民の生涯学習活動の振興の一翼を担っていく安心・安全な施設づくりを目指していきたい。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>令和3年度の施設利用状況について、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策のため、令和3年4月1日～令和3年5月11日及び令和3年8月30日～令和3年9月12日の期間において臨時休館等の措置をとったものの、学校利用を中心とした日程変更への柔軟な対応等もあり、延べ年間利用者数は68,972人(前年度比115%)と前年度より回復した。</p> <p>主催事業について、令和2年度に試行した「泉ヶ岳自然ふれあい塾」を令和3年度事業計画における実施計画に盛り込み、本格的な開催に移った。学校利用に関しては、新たな取り組みとしてオンライン事前学習を導入し、来館時の説明を短縮するとともに、当施設での体験活動に対する児童生徒の理解促進と意欲向上に寄与した。利用者のニーズに合わせ、積極的な事業の企画や業務内容の改善に取り組んでいる点は評価できる。</p> <p>利用者アンケートでは、いずれの項目においても良好な評価を得ており、高水準の利用者満足度を保っている。施設の清掃状況に対する満足度は特に高く、常に清潔で衛生的な状態である。同様に、利用者に対する職員の支援についても、きめ細かい対応が高く評価されている。</p> <p>なお、当施設の運営管理について、職員体制に関して一部仕様書の規定を満たさない時期が一定期間続いたものの、開館時間、指定管理料等の執行状況は協定書及び仕様書に則っており適正である。</p> <p>以上より、前年度に引き続き安定した施設運営ができていると評価する。今後も、指定管理者としてこれまでに蓄えたノウハウを活かしたより効率的な管理運営や効果的な広報、魅力的な事業の企画等とともに、新型コロナウイルス感染症対策を含め、利用者が安心して利用できる施設運営が継続されることを期待する。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項
<p>前年度に引き続き、「新型コロナウイルス感染防止対策マニュアル」に基づいた、館内での感染防止対策に関する掲示、職員間の情報共有等により、感染防止対策を十分に講じた上での施設運営ができている。</p>

◎ 評価担当課（施設所管課）：教育局生涯学習部生涯学習課